

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

交響曲第4番 ブラームス

©Christian Jungwirth

ウィーン響の首席客演指揮者を務め、
欧州で頭角を現す注目株

指揮=マリー・ジャコ
Conductor= MARIE JACQUOT

ベートーヴェン：
ピアノ協奏曲第5番 変ホ長調 「皇帝」
変ホ長調 作品73

BEETHOVEN: Piano Concerto No. 5 in E flat major, op. 73 "Emperor"

ブラームス：交響曲第4番 ホ短調
作品98

BRAHMS: Symphony No. 4 in E minor, op. 98

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター-0570-00-4390 (10時-18時 年中無休)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前まで予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター-0120-415-306 (予約受付：平日9時-17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■木就学児のご入場は、固くお断りいたします。

《土日の午後を彩る名曲選》

ベートーヴェン 皇帝

ザルツブルク音楽祭など世界の
檜舞台で活躍し続ける孤高の名手

ピアノ=アレクサンドル・メルニコフ
Piano= ALEXANDER MELNIKOV

読売日本交響楽団 第265回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 265

2024年3月16日(土)
Saturday, 16 March 2024

読売日本交響楽団 第265回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 265

2024年3月17日(日)
Sunday, 17 March 2024

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre

チケット料金

¥8,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥4,500

©Marco Borggreve

<https://yomikyo.or.jp/>

世界的名ピアニストが会場を魅了する！
ウィーンが認めたフランスの新鋭が、
ウィーンゆかりの二人の偉大な作曲家
ベートーヴェンとブラームスの二大名曲を振り、

ベートーヴェン × ブラームス

究極のドイツ音楽名曲選

マリー・ジャコ (指揮)

MARIE JACQUOT, Conductor

欧州で注目を浴びるフランスの新鋭。2023年からウィーン響の首席客演指揮者を務め、24年からデンマーク王立劇場の首席指揮者、26年からケルン放送(WDR)響の首席指揮者に就任する。パリでトロンボーンを学んだ後、ウィーンとワイマールで指揮を学ぶ。16年にバイエルン国立歌劇場でK.ペトレスコのアシスタントを務め、16年から19年までヴェルツブルク歌劇場、19年からライン・ドイツ・オペラで第1指揮者として活躍。ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バイエルン放送響、ダラス響、ベルリン・ドイツ響、ドレスデン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、シュトゥットガルト歌劇場などに客演。24年2月にはミュンヘン・フィル、6月にはベルリン国立歌劇場にデビューする。読響初登場。

ウィーンを魅了する新鋭ジャコが鮮烈な日本デビュー！ 孤高の鬼才メルニコフが《皇帝》の神髄に迫る。

音楽の都ウィーンを代表する名門ウィーン交響楽団の首席客演指揮者に今シーズンから就任したマリー・ジャコが指揮台に上がる。新鋭の待望の来日がついに実現し、《土曜・日曜マチネー》でウィーンゆかりの二人の作曲家、ベートーヴェンとブラームスの二人名曲を披露する。

メインに演奏するのは、ブラームス最後の交響曲第4番。晩年へと差し掛かった作曲家が、憂愁の想いや内に秘めた感情を綴った名作だ。交響曲というジャンルにおいて独特の美しさを放つ本作に、想像力に長けたジャコが新たな息吹を吹き込む。ブラームスの真骨頂とも呼べる古典的な変奏形式(パッサカリア)を用いた終楽章では、しなやかなタクトからどのような彩色が施されるか注目したい。パリで学んだ後にドイツの歌劇場で磨き抜かれた実力を遺憾なく発揮し、豪快なスケールを保ちながら個々の楽器の輪郭を浮き立たせて鮮やかな音色を作り出すだろう。欧州音楽界を賑わす彼女の豊潤なサウンドをたっぷり堪能していただけるはずだ。

前半は、世界的なベートーヴェン弾きとして活躍するメルニコフが登場し、傑作協奏曲「皇帝」を披露する。メルニコフは巨匠リヒテルらロシアの伝統的なピアノイズムの薫陶を受けながら、「求道者」のごとく独自の芸術性を深める孤高の名手だ。古典から現代まで自由にわたり、作品への深い洞察と明晰な解釈で常に新たな姿を^{かたつ}あぶり出す。闊達なタッチ、巧みなベダリングは一音一音を際立たせ、抒情に満ちながら洗練された響きを聴かせるだろう。近年ヴァイオリンのファウスト、チェロのケラスと繰り広げたベートーヴェンの室内楽曲も「新次元の三重奏」として絶賛されている。今回も妥協を許さぬ知性と大胆な創意によるアプローチで新たな「皇帝」の像を描き出すはずだ。

休日の午後、新鋭と鬼才が織りなすドイツ音楽の魅力にどっぷりと浸かっていただきたい。



アレクサンドル・メルニコフ (ピアノ)

ALEXANDER MELNIKOV, Piano

類まれな知性で真実を追求し続ける孤高のピアニスト。巨匠リヒテルの代役としてドイツの音楽祭に出演し、欧州音楽界の度肝を抜いて一躍脚光を浴びる。モスクワ音楽院卒業後、ヴィルサラーゼ、シュタイアーらに師事。テミルカーノフ、プレトニョフ、ホルトンら名匠の指揮でフィラデルフィア管、ロシア・ナショナル管、サンクトペテルブルク響などの名門楽団と共演するほか、カサド指揮フライブルク・バロック管やロト指揮シ・シエクルと共演するなどヒリオド楽器への造詣も深い。各国の主要ホールでリサイタルを開くほか、室内楽ではファウスト、ケラスら名手から厚い信頼を寄せる。「クラシカ誌」最優秀賞受賞のショスタコーヴィチ「24の前奏曲とフーガ」はじめ録音も多数。読響初登場。

©Marco Borggreve

読売日本交響楽団 第265回 土曜マチネーシリーズ

2024年 **3月16日** (土) 14時開演
S ¥8,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,500

読売日本交響楽団 第265回 日曜マチネーシリーズ

2024年 **3月17日** (日) 14時開演
S ¥8,000 / A ¥6,000 / B ¥5,000 / C ¥4,500

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。読響(株)東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前までに予約)。株式会社ミラクス ミラクスシッター0120-415-306(予約受付:平日9時~17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296